

Research Foundation for Food and Culture

食生活文化 良レポート

NO. 73

一般財団法人

日本食生活文化財団

〒104-0045 東京都中央区築地4-2-7-507

電話 03(3541)6622 FAX 03(3541)6652

URL <http://www.nsbz.or.jp/> E-mail jimukyoku@nsbz.or.jp

令和5年3月31日発行

「食文化ニュース」は「食文化レポート」に改題しました。



令和4年11月11日 令和4年度 食生活文化賞授賞式 於 上野精養軒

財団のシンボルマーク



製作：金工作家 日本芸術院会員 文化勲章
蓮田修吾郎先生

左のマークは、当財団が食生活文化賞受賞記念メダルとして使用している構図です。我が国は、南北に長い陸地とそれをとり巻く海、四季の移り変わりがはっきりした自然と風土に恵まれ、四季折々の海・山の産物は、それぞれに微妙な味の変化を楽しませてくれます。

このメダルは、一年を十二角形により表現するとともに、海の幸・大地の幸などそれぞれの季節の旬の、新鮮な食物を図案化し、広く食生活文化の発展を祈ったものです。世界のアート・メダルの歴史のなかでも、十二角形を鋭角なタッチで制作したものは、鍛造上高度な技術要求され、貴重な存在であります。

一般財団法人 日本食生活文化財団

目次

理事長挨拶	2
食生活文化賞授賞式・祝宴	2
学生表彰	3
新春食文化講演会及び懇親夕會	3

令和4年度 食生活文化賞 受賞者の皆様	4
令和5年度 行事予定	4
日本食生活文化財団へのご意見・ご要望	4

理事長挨拶



一般財団法人
日本食生活文化財団
理事長 三田芳裕

日頃は、当財団の運営につきまして格別のご協力ご支援を頂き深謝いたしております。
食生活文化レポート第73号の発行にあたりご挨拶申し上げます。

現在も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、食文化関係の方々も、多くの困難に直面しています。また、例年開催されてきた講習会やシンポジウムも中止を余儀なくされるなど、食文化をめぐる状況は困難でしたが、ようやく明るい兆しが、見えてきた昨今でございます。

コロナ禍に見舞われながらも、当財団の顕彰事業は、多くの皆様からご推挙賜りました立派な候補者の中から審査小委員会、審査委員会、そして外部委員の皆様による顕彰委員会を経て、受賞者を決定し、第43回食生活文化賞授賞式を挙行することができました。これらに関係されたすべての皆様のご協力のお蔭と深く感謝申し上げます。

最後に、令和5年度の事業につきましても、皆様の倍旧のご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

令和4年11月11日 食生活文化賞授賞式・祝宴を開催

会場：上野精養軒

令和4年度の食生活文化賞は新顕彰規程での7回目の授賞式となりました。

今回の授賞式・祝宴は、コロナ禍にもかかわらず関係各位のご協力のもと感染症対策を考慮して開催し受賞者・会員合計68名の皆様にが参加頂き、ご受賞を祝することが出来ました。

令和4年度の食生活文化賞は従来同様、授賞対象者を全国各地の幅広い分野の食生活文化全般に携わるの方々の中よりご推薦頂きました。三度にわたる選考の後、14名の受賞が決定されました。

今回の授賞式、祝宴はコロナ禍の中、感染症対策を十分に準備して、11月11日に創業150年の上野精養軒にて開催されました。

格式ある式典の後、今回は立食パーティーによる祝賀会となり、上野精養軒のお心づくしのお料理とサービスを参加70名の方々と楽しみました。

受賞者14名様の名簿が最終項に御座いますのでご照覧お願い致します。

ご受賞の皆様 おめでとうございます。



創立150周年の上野精養軒



衆議院議員 奥野信亮先生
(当財団名誉会長)のご挨拶



式辞を述べる三田理事長



文化庁長官のご祝辞を代読される
文化庁参事官(食文化担当)野添剛司様



酒井審査委員長による選考経過報告



日本料理部門 受賞の皆様



西洋料理部門 受賞の皆様



和菓子・洋菓子部門 受賞の皆様



食生活文化賞メダル授与の様子



製パン・素材各種・教育部門 受賞の皆様



受賞者を代表して謝辞を述べる岩崎勇様



会場の様子



牛窪監事による乾杯の発声



祝宴で歓談される皆様



上野精養軒のお心づくしのお料理



令和4年度 卒業生 学生表彰

財団は顕彰事業の一環として、教育機関を運営されている法人会員を対象に、代表者からの申請により、優秀な卒業生に卒業式で賞状を授与しております。下記が令和3年度の協賛の概要です。

卒業式日程	法人名	学校名	表彰者名
令和4年3月3日	(株)旭学園	富士調理技術専門学校	由井愛菜
令和4年3月9日	(株)東京綜合食品学園	東京製菓学校	安善美
令和4年3月10日		浜松調理菓子専門学校	新木菜々美
令和4年3月11日	(株)東京聖徳学園	聖徳大学	中村咲羽
令和4年3月13日	(株)二葉綜合学園	吉祥寺二葉製菓専門職学校	田邊千愛
令和4年3月13日	(株)二葉綜合学園	吉祥寺二葉米養調理専門職学校	吉田綾子
令和4年3月16日	(株)食糧学院	東京米養食糧専門学校	横井武司
令和4年3月16日	(株)食糧学院	東京調理製菓専門学校	石井託慎
令和4年3月17日	(株)服部学園	服部米養専門学校	間瀬陽風
令和4年3月18日	(株)誠心学園	東京誠心調理師専門学校	馬場晴菜

令和5年2月1日 新春食文化講演会及び懇親夕食会を開催

会場：玄治店濱田家

例年は当財団と東京西洋料理協会の共催で「新年会」として開催していましたが、コロナ禍で3年振りの「新春食文化講演会・懇親夕食会」として顕彰委員である江藤事務所の江藤史朗氏（濱嘉之）に「執筆活動と危機管理について」のタイトルで、約30分の講演をして頂いた後に懇親夕食会を開催しました。

濱嘉之氏は警視庁入庁後、警視総監賞、警視庁警備局長賞などを多数受賞され、警視庁警視で辞職、衆議院議員政策担当秘書を経て、「警視庁情報官」で作家デビュー。執筆活動をしながら、現在は危機管理コンサルティングに従事するかたわら、TVや紙誌などでコメンテーターとしても活躍中であります。

一般視聴者には知り得ない大変興味深いものでした。

懇親夕食会は濱田家様の贅を尽くした料理とサービスに加えて、東京赤坂組合の皆さんの謡と舞が披露され江戸の風情の溢れる夕べとなりました。

会員並びにご同行の方計25名の皆様にご参加頂きました。



衆議院議員 奥野信亮先生のご挨拶



三田理事長のご挨拶



顕彰委員である江藤事務所の江藤史朗氏（濱嘉之）



お食事・ご歓談される皆様



東京赤坂組合の芸者衆



「造り鮎」 平目 青利烏賊

令和4年度 食生活文化賞 ご受賞の皆様

部門	お名前	賞名	勤務先 団体・会社名	役職名
日本料理	清水 秀樹	食生活文化賞	株式会社 心の館 清水	代表取締役
日本料理	松田 久雄	食生活文化賞	伊藤商店 車屋 (隠れ里車屋)	和食 料理長
日本料理	加藤 正利	食生活文化賞	株式会社 目黒雅叙園	統括料理長 兼 調理部長
日本料理	菅井 徹	食生活文化賞	株式会社 東京會館 三菱クラブ	三菱クラブ 和食調理長
西洋料理	岩崎 勇	食生活文化賞	アパホテル 株式会社 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張	アパホテル名誉総料理長
西洋料理	吉田 和男	食生活文化賞	株式会社 精養軒	調理顧問
西洋料理	狩野 美紀雄	食生活文化賞	盛岡ターミナルビル 株式会社 ホテルメトロポリタン盛岡	調理部長 総料理長
西洋料理	笠原 滋	食生活文化賞	株式会社 東京會館	三越日本橋本店営業所 調理長
和菓子	信田 充康	食生活文化賞	株式会社 餅信	会長
洋菓子	迫田 一億	食生活文化賞	株式会社 モンブラン	代表取締役
洋菓子	山浦 孝一	食生活文化賞	山手調理製菓専門学校	校長
製パン	杉窪 章匡	食生活文化賞	ウルトラキッチン 株式会社	代表取締役社長
素材各種	小田 忠信	食生活文化賞	株式会社 クインビーガーデン	代表取締役
教育	荒木 裕子	食生活文化賞	学校法人 東京聖栄大学	学校法人 東京聖栄大学 理事 東京聖栄大学 教授 健康栄養学部長 (地域連携センター長 兼務)

食生活文化賞 受賞者 14名

(敬称略)

令和5年度 行事予定

洋菓子特別講習会	令和5年 6月28日	会場	ドーバー洋酒貿易(株)
製パン特別講習会	検討中		
食文化シンポジウム	検討中		
食生活文化賞授賞式・祝宴	令和5年 11月10日	会場	上野精養軒

日本食生活文化財団へのご意見・ご要望

平素より日本食生活文化財団の事業にご協力・ご参加頂き有難うございます。当財団では皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。下記の事務局までメールかFAXでお寄せ願います。

お寄せいただきましたご意見・ご要望は、今後の当財団の事業改善に役立ててまいります。

事務局 メール:jimukyoku@nsbz.or.jp

FAX 03-3541-6652